

研修会・講習会

大会 参加報告 (平成 25 年度全国高等学校総合体育大会 サッカー競技)

----- 「2013 未来をつなぐ北部九州総体に参加して」 サッカー2級審判：三木 章嗣 -----

日時：平成25年7月30日(火)～8月3日(土)

会場：博多の森陸上競技場 他9会場

試合：高校総体 サッカー競技

主なスケジュール：

1日目：

競技規則テスト 50分間

体力テスト 40m×6本 6. 2秒以内

インターバル走 150m (30秒) + 50m (40秒) を20本 (1級基準)

研修

「インターハイの心構え」

梅本チーフインストラクター

「競技規則の改正【オフサイド】」

太田インストラクター

「フィジカル・フィットネス理論」

山岸フィットネスインストラクター

「サッカー審判員という仕事 ～自分と向き合う～」 松尾プロフェッショナルレフリー

1日目の筆記テスト、体力テストをこなしましたが、体力テストでは1級基準で行いました。今までに行ったことがない基準で行ったため、いつも以上に疲労感を感じました。この体力テストで感じたことはやはり日ごろのトレーニングの重要性です。トレーニングを行っていても、トレーニング方法を考えて行わないといけなことを痛感しました。今後のトレーニング方法を見直すいいきっかけになりました。

夜の研修では梅本チーフインストラクターからの今大会の心構えをお話いただきました。特にそのお話の中で「各チームはこの大会にすべてをかけて戦ってくる。そのため審判員もこの大会にすべてをかけて判定するように。少しの甘えが各チームのすべてを奪うことになる。」という言葉がとても心に残っています。この大会に自分のすべてを出し切らないといけなと改めて感じました。

次にオフサイドの解釈の変更やフィジカル・フィットネス理論や資質向上の講習を受けました。



多くのことを学んだ
三木 審判員

○オフサイドの解釈の変更

その位置にいることで利益を得たかどうかの判断



意図的にプレーしたかどうか ⇒ 時間・距離などを考慮しながら主審が判断する

主審をしていた場合最後の最後までしっかりと見極めて判断しないといけなと感じました。

○フィットネス理論

90分プリントを続けられる力は今の現時点では自分に足りない部分と感じています。そのため冒頭でも伝えたようにトレーニングの重要性、トレーニング方法の見直しなどが必要になると思います。これからフィジカルをつけるためにはこれからの個人の意識にかかってくると思います。自分を見直すともいいきっかけになりました。

○サッカー審判という仕事

松尾プロフェッショナルレフリーからの言葉の中でとても重要と感じたのは「自分と向き合う」ことだと思いました。サッカー審判だけでなくどの場面でも自分の向き合うことが大切になってくると思います。自分と向き合うことの大切さを教えていただきました。

2日目：

フィジカルトレーニング	「ピラー（体幹）を意識して」	山岸フィットネスインストラクター
プラティカルトレーニング	「オフサイドの判定」	梅本チーフインストラクター
		石山インストラクター
	「タッチライン際の判定」	太田インストラクター
	「中盤での動き方」	柏原インストラクター
	「コンディションを意識して」	松尾プロフェッショナルレフリー

研修試合 主審 柏原インストラクター

研修 「レギュレーションの確認」 上川日本サッカー協会審判委員長
「審判員への10個の提案」 ポール・テラー インストラクター
「スキルアップのために」 柴田インストラクター
山崎インストラクター

2日目はトレーニングと研修試合中心に1日を過ごしました。フィジカルトレーニングでは体幹を意識した様々なトレーニング方法を教えていただきました。体幹を鍛えることで体のブレがなくなりいい姿勢で判定ができるようになることがわかりました。体がブレることによって一瞬の判定が遅れる場合があるためこの体幹トレーニングが重要になると感じました。

プラティカルトレーニングではオフサイドの解釈の変更からプラティカルトレーニングを行いました。瞬時の判断が必要になってきます。また、その際に言われたのが判断することに多くなり意識が解釈の変更の場面にいきすぎで簡単なオフサイドがとれていないと言われました。多くの判断の中で迷いが出ないようにしないといけないと感じました。また、タッチライン際の判定ではボールと最終ラインの両方を見ないといけないため判定が難しくなります。今回は意識してトレーニングを行うことができたと思います。今後もしっかりと意識して行きたいです。

「研修試合15分間」主審担当

柏原インストラクター

この研修試合では主審を担当しましたが、今までの自分の課題であった「中盤での動き」を意識して行いました。プラティカルトレーニングで柏原インストラクターに行っていた「中盤の動き」を試合の中で取り入れることができました。その部分は自分が評価できる部分でしたが、細かい判定の部分ではまだまだ課題が残ると感じました。

○審判員への10個の提案

イングランドから来ていただいたポール・テラーさんから審判員への10個の提案を聞きました。サッカーを愛すること、常にチャレンジすること、強い意志を持つことなどとても大切なことを話していただきました。自分自身が成長していくためには多くのことを学び、改善していく必要があると改めて感じることができました。自分自身イングランドの方からの話を聞くのは初めてであり、とても貴重な体験をすることができました。このようなことを今後伝えていくことも大切だと感じました。

3日目：インターハイ 大会1日目

会場：白水大池公園多目的広場

第1試合	帝京大可児	VS	松商学園		
第2試合	富山第一	VS	奈良育英		
第3試合	大分西	VS	名古屋	副審1担当	石山インストラクター

研修 「各会場の連絡事項」 柳本インストラクター
「スキルアップのために」 徳永インストラクター

第3試合	大分西	VS	名古屋	副審1担当
	0	—	0	
	0	—	0	
	3	PK	1	

インターハイ1日目が始まりました。白水大池公園多目的広場の第3試合の大分西 VS 名古屋の副審1を担当しました。1回戦ということもありいい緊張感で試合に挑むことができました。副審ということでオフサイドの解釈の変更の部分を念頭に置き、しっかりと判定することを目標設定し試合に入りました。実際の試合では、判定の部分ではきっちりとできたつもりでしたが、もっとラインキープを意識していかないと感じました。ラインキープを少しでもサボるとオフサイドの判定の部分でミスが生じると指摘されました。もっと細かくサイドステップを使うとよくなると言われました。自分の課題をこれからもしっかりと意識しながらしていかないと感じました。

○スキルアップのために

競技者のコントロールや見方を変えることを題して話をさせていただきました。マネジメントがとても大切だと感じました。試合、時間、選手、ベンチなどすべての部分に目をやり進めていくがとても重要になります。このようなことを意識しながら今後審判活動をしていきたいと思いました。

4日目：インターハイ 大会2日目

会場：春日公園球技場

第1試合	市立船橋	VS	水戸啓明	副審2担当	石山インストラクター
第2試合	遠野	VS	九州国際大付属		
第3試合	青森山田	VS	武南		

研修

「各会場の連絡事項」

「スキルアップのために」

鈴木インストラクター
関根インストラクター

第3試合	市立船橋	VS	水戸啓明	副審2担当
	1	—	0	
	0	—	0	

インターハイ2日目が始まりました。春日公園球技場の第1試合の市立船橋 VS 水戸啓明の副審2を担当しました。2回戦ということもあり昨日の1回戦の反省を念頭に置き試合に挑むことができました。しかし、1回戦と同様、ラインキープの部分で少しずれることがあり、もっと自分の意識を変えていかないと感じました。1つ1つ確実に取り組むことの重要性を改めて感じました。まだまだ自分の甘えが多くあることを痛感しました。今後このようなことがないように取り組んでいきたいです。

自己分析することの大切さ、考え、取り組む姿勢を持つことの大切さを話させていただきました。自分の課題を見つけるためには自己分析ができないといけません。そこから考え取り組むのは自分自身でしかできない部分だと思います。今の自分はその部分が欠けているとこの話を聞いて感じました。今後取り組んでいかないといけないポイントだと思います。

5日目：インターハイ 大会3日目

会場：博多の森陸上競技場 観戦研修

第1試合	滝川第二	VS	近畿大学附属
第2試合	市立船橋	VS	九州国際大付属

インターハイ3日目。この日は観戦研修を行いました。博多の森で兵庫県代表の滝川第二VS近畿大学附属の試合と市立船橋VS九州国際大付属の試合を見ました。この試合から1級審判の方々が主審を担当しました。1級審判の方々の動きを見ながらとても学ぶべきことが多くありました。主審を行った時の中盤での動きだしや判定の速さなど身近で見ても感じ取れることがとてもありました。今自分だったらこのポジションにいるだろうと頭で描きながら主審の方の動きを見ていました。多くの部分で自分の足りない部分を肌で感じ取れることができました。

《研修を振り返り》

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただいた兵庫県サッカー協会、日頃から私をご指導をしてくださる方々に御礼申し上げます。

また、梅本チーフインストラクターをはじめとするインストラクターの皆様には5日間大変お世話になりとても感謝しております。

この研修を終え、多くの課題を見つけることができました。足りない部分が多い自分にとってこの研修は自分を見直すとてもいい機会になりました。多くの課題、足りない部分を補っていくために今後努力していきたいと思えます。また、このインターハイで学んだことを関西地域や兵庫県で還元できるようにしていきたいと思えます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。